

# ANNUAL REPORT 2025

一般財団法人まちと人と



# まちが人を育み、人が まちを豊かにする

まちぐるみで若者を応援し、育むこと。若者たちが自分らしく働き、まちで活躍していること。

これらが重なり合う先に、「若者とまちのいい関係」があるはずです。

まちが人を育み、人がまちを豊かにして、また次の世代を育む。

そんな連綿とつづくまちと人の繋がりを、私たちは紡ぎます。



## そだつを拓く

地域で暮らす若者が、ワクワクする大人と出会い、可能性を開花させていく。「まちが人を育む」循環を生み出すため、「一般財団法人まちと人と」では若者が地域で挑戦して「育つ」環境づくりに取り組んでいます。若者が地域とともに育つことで、まち全体が人を育む未来を目指します。

### 「学校と連携して」 地域で挑戦する機会をつくる

総合的な探究の時間の  
授業サポート

専門教育次世代人財  
育成プロジェクト

### 「地域に出て」 地域で挑戦する機会をつくる

自分の好きを見つける  
ボランティア「まきボラ」

たくらむ・いどむ・たのしむ  
「ムムム！」

### まちと人と スタッフ



斉藤 誠太郎  
さいとう せいじろう



市川 達博  
いちかわ たつひろ



野内 杏花里  
のうち あかり



佐々木 紫乃  
ささき しの



荒木 みき  
あらかき



伊藤 歌音  
いとう かのん

### まちひとワークス スタッフ



松本 裕也  
まつもと ゆうや



中村 志郎  
なかむら しろう



小川 凜  
おがわ りん



網田 暖  
あうだ のん



千葉 小鈴  
ちば こりん



伊藤 愛和  
いとう まな

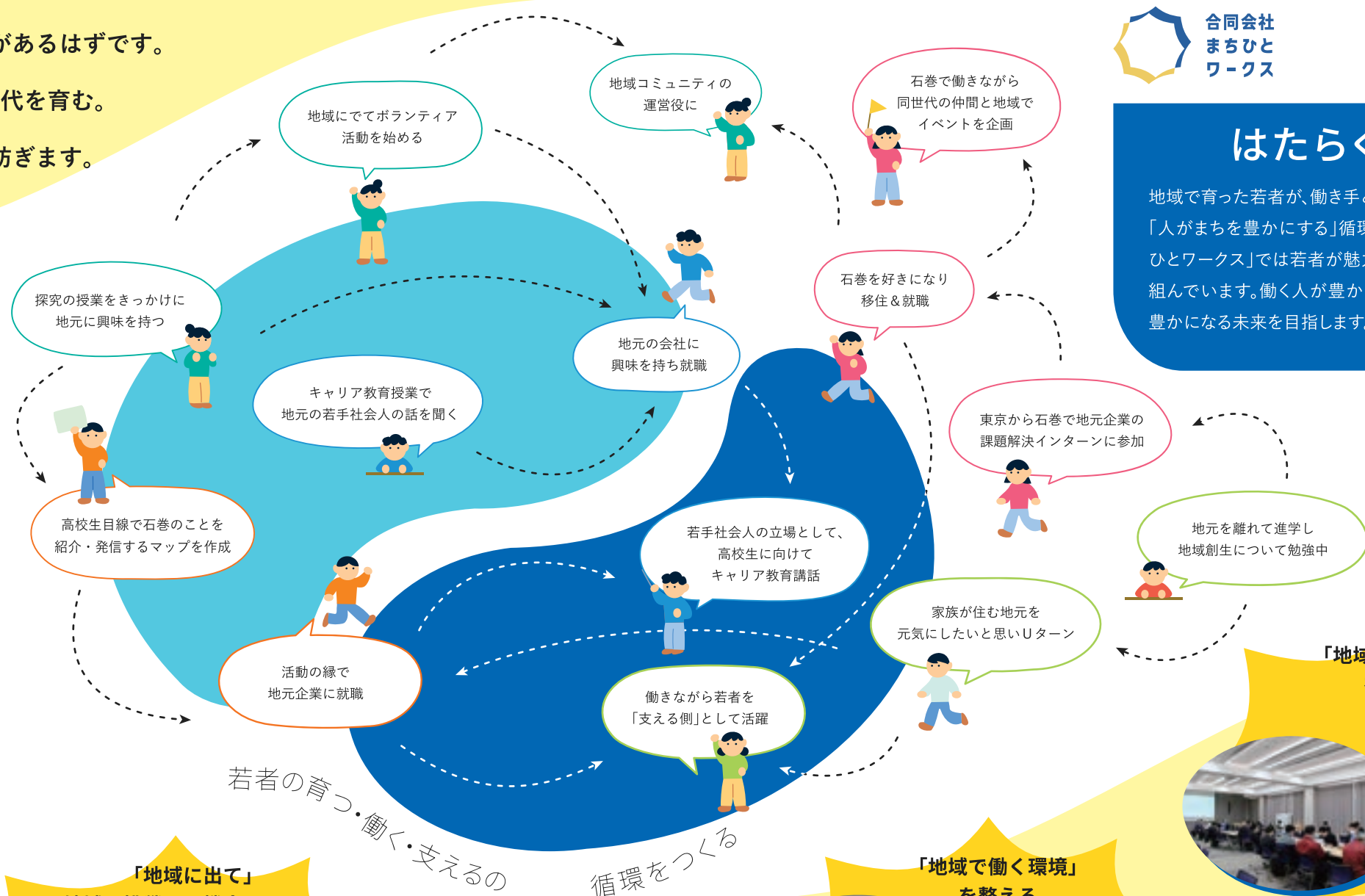
斉藤 誠太郎

市川 達博



## はたらくを支える

地域で育った若者が、働き手としてまちを支えていく。「人がまちを豊かにする」循環を生み出すため、「合同会社まちひとワークス」では若者が魅力を感じる「働く」環境づくりに取り組んでいます。働く人が豊かに・元気になることで、まち全体が豊かになる未来を目指します。



### 「地域で働く入口」 を拡げる



逆求人ドラフト会議



企業紹介Instagram  
「#石巻をささえる」

### 「地域で働く環境」 を整える



経営者向け研修や  
高校教員との意見交換など



新入社員  
合同研修・内定者研修

# 超！石巻地域のすべての若者が 自己実現できるまち

一般財団法人まちと人とは、「石巻地域のすべての若者が**超！**自己実現できるまち」をビジョンに掲げ活動しています。**超！**には2つの意図があります。

自分らしく、**beyond!**  
地域で**超**える！

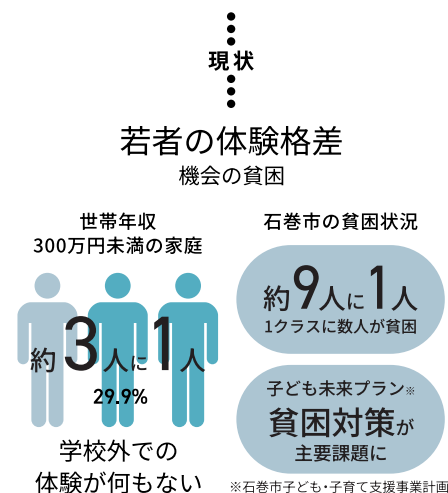
若者がこれまでの自分を自分なりの挑戦で飛び超えること  
そして、自分だけの枠組みを超えて地域のなかで挑戦すること

できるが**super!**  
**超**ある！

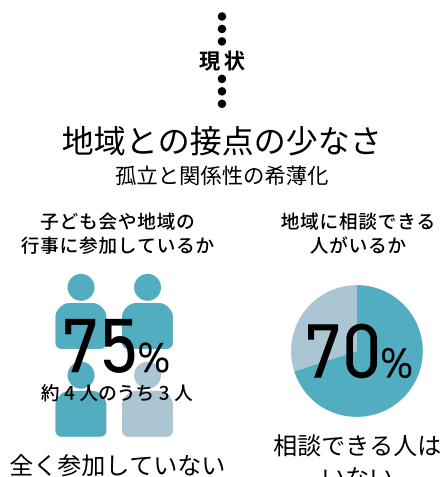
地域の中に若者が挑戦できる機会がたくさんあること  
そして、若者がたくさんの応援する人やロールモデルに出会えること

## 私たちの願いと、石巻の現状

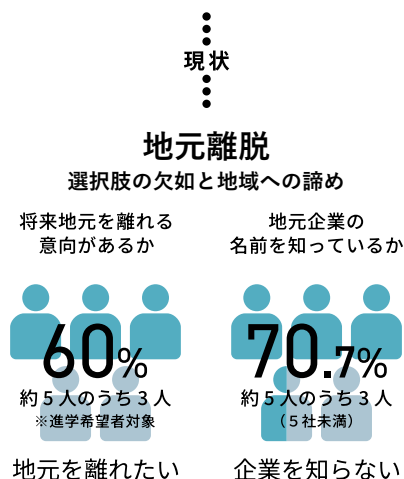
地方の若者にも  
挑戦の機会をつくりたい！



地域のワクワクとの  
出会いを生み出したい！



地元の可能性をもっと  
知ってほしい！



このような願いをもって、一般財団法人まちと人とは、2つの柱で事業を展開しています。  
学校で興味の種をまき、地域でその挑戦を育む両輪で、若者の可能性を最大化します。

### 学校教育事業

学校と連携し、多くの中高生へ一斉にアプローチします。地域の大人との対話や探究学習を通じて、「ワクワクするものに出会う」きっかけを広く届けます。

### 地域教育事業

学校での気づきを一歩進め、「もっとやってみたい」という若者の意欲を引き出します。ボランティアやインターンなど、地域社会での実践的な挑戦をサポートします。

### 数字で見る2025年度

関わった高校生の数  
11,721人<sup>(のべ)</sup>

前年より  
19%  
UP!

石巻の高校に通う高校生約3500人に対し、まちと人との事業に関わった高校生の人数です。

地域びたり時間  
3,106.44時間

前年より  
78%  
UP!

高校生がまちと人を通して地域と関わった総時間です。時間が長いほど、高校生と地域の接続が深まったことを表します。

実施学校数

11校<sup>(のべ)</sup>

年間の事業で関わった中学・高校の数です。石巻市内の学校に加え、近隣市町村の学校に関わりました。

協力事業所数

266事業所<sup>(のべ)</sup>

年間の協力事業所数です。高校生と関わる事業所が増えると、地域びたり時間が増え、挑戦の機会が創出されます。

### 2025年度のふりかえり

高校生のより主体的な挑戦が生まれました

新規事業「ムムム！」の始動により、高校生自身の「やりたい！」からはじまるアクションが多く生み出されました。これまでの活動から更に一歩主体的な挑戦が育まれました。

OB・OGが地域で活動する姿が見え始めました

かつてのプログラム参加者達が、「まきボラ」のサポーターとして戻ってきたり、高校生の時に繋がった団体の活動に参加する等、継続的・意欲的に地域に関わる姿が見え始めています。

「若者を支える仲間」を増やすアプローチの実施

「企業と教員との意見交換会」や「若者と石巻市長との懇談会」を企画しました。「共にまちをつくるパートナー」として、企業・学校・行政とともに、若者に必要な支援とは何なのかを考えました。

広報発信を強化 支援の輪が広がりつつあります

自組織内に広報チームを立ち上げ、プレスリリースやSNSで積極的に若者たちの挑戦プロセスの発信を行いました。結果、取材件数は昨年度から倍増し、取材記事を通しての協賛やサポーターが集まり始めました。

### 2026年度に向けて

若者が挑戦できる機会の数を増やししながら、幅を広げます

「ムムム！」の伴走体制をブラッシュアップし、より多くの若者へ挑戦の機会を届けます。また、OB・OGを対象にした「地域と関わるきっかけ」の数も増やし、「まちひとワークス」への事業との接続をしていく予定です。

これまで以上に「地域に開いた活動」を目指します

持続可能な活動を目指し「地域に開いた活動体制」の構築を目指します。具体例として、地域の方とまきボラのこれからや運営を考える「まきボラ超！会議」実施します。また、広報発信もより充実し、地域内外へ認知を広げます。

#### 代表総括

「もっと地域で挑戦をしたい」という高校生が動き出したり、かつてのプログラム参加者が高校卒業後も地域に関わり始める様子が見える1年でした。また、そういった若者の動きに対して地域の大人たちの認知や共感の広がりも感じました。

2026年度は、若者の挑戦や地域との関わりを一過性で終わらせず、発展と継続を目指して活動したいと思います。また、若者が地域で挑戦している姿を多くの人たちに届けて、より多くの協力と応援を集め、地域全体で若者を支える環境を作っていきます。



# 学校教育事業

学校と連携し、多くの中高生へ一斉にアプローチします。地域の大人との対話や探究学習を通じて、「ワクワクするものに出会う」きっかけを広く届けます。

## data

実施学校数

11校(のべ)

(延べ)参加人数

11,404名(のべ)

前年より

18% UP!

関係事業所数

190社以上(のべ)

## episodes

「やってみたい！」が発芽。個別伴走が引き出した自主プロジェクト



総合的な探究の時間の授業で活動



ムムム！として活動を継続

海外の貧困層の子供を医療支援したい！と探究を始めたKさん。授業終了後も継続するため「ムムム！」に参加。活動の中で様々な人に話を聞くうち、自身もイメージで「かわいそう」と思っていたことに気づきます。そこで、まずは偏見をなくすため、海外支援を行う方と協働してカンボジア文化を体験するイベントを開催。現在は経験を活かし看護師を目指しています。

学校主催のプロジェクトから地元を知り、若者と石巻市長との懇談会へ参加



専門教育次世代人財育成プロジェクトに参加



若者と石巻市長との懇談会に参加

もともと引っ込み思案だった工業高校生のRさんは、「専門教育次世代人財育成プロジェクト」に参加し、地元企業を取材や自身の専門性を地域に活かす方法を探究しました。活動の中でまちへの思いが芽生え、「若者と石巻市長との懇談会」の場へ自らの意志で参加。石巻市長へ自分の意見を堂々と提言するまでに成長しました。

## 総合的な探究の時間サポート

高校生が自身の興味関心や社会課題について探究的に学ぶ「総合的な探究の時間」の授業サポートを行っています。特に、高校生が地域と関わる機会を増やすために地域の事業者や団体とのコーディネートを行ったり、効果を高める授業づくりの支援を実施しました。



参加者数

10,662名(のべ)

実施校数

3校

実施校一覧

宮城県石巻高等学校  
宮城県石巻西高等学校  
石巻市立桜坂高等学校

## 高校生のためのいしのまき探究図鑑

高校生の活動に協力してくれる、地域の企業や団体を紹介するサイトです。高校生がヒントを得たり、地域の大人の活動を知ることによって探究活動に活かすことを目指しています。本年は、宮城県石巻西高等学校・石巻市立桜坂高等学校宮城県石巻高等学校で活用したプログラムを実施しました。



いしのまき探究図鑑  
ウェブサイトはこちら



## impact

高校生の興味関心が深まり、地域での挑戦意欲が生まれました！

高校生の興味関心を深めるサポートができました。

将来の進路に直結する気づき、能動的な探究への変化が表われています。

総探の中で自分の興味関心を  
深められたか？

興味関心を  
深められた  
そう思う・ややそう思う

78%

総探で自分の興味関心に変化や  
新たな気づきがあったか？

変化や新たな  
気づきがあった

56%

普段知らない課題や問題を  
直接聞くことができた

地域のイベントに  
積極的に参加したい

地域の良さを知って  
役に立ちたい

趣味と将来を結びつけて  
新しい気づきを得た

自分のすぐ近くに  
課題があると気がついた

総探を行ったことで  
他の進路もあるんだと感じた

地域活動へのニーズが強まっていたことが伺えます。

イベントへの参加やボランティア活動をしたいという声が挙がりました。

自分が興味関心のあることについて、  
地域でアクションしたいか？

地域で  
アクションしたい  
そう思う・ややそう思う

55%

地域のイベントに  
積極的に参加したい

地域の良さを知って  
役に立ちたい

地域が好きなので  
盛り上げることがしたい

自分の将来に  
活かしたい

いろんな人と  
関わりたい

一緒に漁師の仕事  
を経験してみたい

考えるだけでなく  
実際にアクションしたい

地域のボランティア活動に参加して  
もっと自分の地域のことを深く知りたい！

## ミライブラリー

地域の若手社会人を講師とし、少人数での対話で「大人になること」「働くこと」について考えるプログラムです。身近なモデルで、先輩でもある講師との対話を通じ、自分のキャリアや生き方を考えます。

参加者数

472名(のべ)

実施校数

4校

実施校一覧

宮城県南三陸高等学校 宮城県蔵王高等学校  
石巻市立桜坂高等学校 宮城県大河原産業高等学校

実施サポート

宮城県迫高高等学校

## 専門教育次世代人財育成プロジェクト

石巻地域の専門学科を有する、4高校の高校生らが各校の学びを活かしながら産学官の協力のもと地域課題の解決に向けた活動を実施しています。今年度は、地元企業の商品の商材を分解して説明し、特産品を活用した商品検討を実施しました。



参加者数

29名(実)

実施校数

4校

実施校一覧

宮城県石巻商業高等学校  
宮城県水産高等学校  
宮城県石巻工業高等学校  
宮城県石巻北高等学校

学校の枠を超えた、実践的な学び  
専門の異なる他校の高校生たちと意見を交わす機会があり、自分にはない視点に触れることで多様な学びを得ることができました。また、実践的な活動を通して、今まで知らなかった地元企業の高い技術力や特産品の魅力など、地域の良さを改めて発見できました。

# 地域教育事業

学校での気づきを一步進め、「もっとやってみたい」という中高生の意欲を引き出します。  
ボランティアやインターンシップなど、地域社会での実践的な挑戦をサポートします。

data

地域びたり時間

前年より  
78%  
UP!

3,106.44 時間

事業所数

前年より  
67%  
UP!

72 事業所(のべ)

参加人数

前年より  
29%  
UP!

312 名(のべ)

episodes

地元企業との活動を経て、自らの「やってみたい」を形に



DIVE! に参加  
ミッションに取り組む



ムムム! に参加  
自身の「やってみたい」を実現

企業や地域と関わることに興味があったKさん。「DIVE!」では地元のものづくり企業と連携し、若者への魅力発信を行いました。その後「ムムム!」に参加し、得意だったフラワーアレンジメントのワークショップを企画。地元の花屋さんとコラボして地域の朝市に出店するなど、地域の中で自身の「やってみたい」を叶えました。

「まきボラ」での地域の大人との出会いが進路のきっかけに



「まきボラ」で  
子ども支援団体の活動に参加



自分の「好き」を見つけ  
保育の道へ

元々教育関係に興味があったMさん。友達に誘われ子ども支援団体の「まきボラ」に参加した際、大人の「子どもと対等に同じ目線で過ごす姿勢」に感銘を受け進路先を保育の道に決めました。高校3年の春にまきボラサポーターに立候補。今度は参加する高校生の挑戦を応援する側として地域で活動し、自身の成長へと繋げました。

まきボラ 石巻で自分の好きを見つけるボランティア

石巻地域の高校生・大学生が対象のボランティアプログラムです。地域との接点をつくることで、学生が「地域のよさ」と「自分の好き」を見つけ将来の選択肢を広げることを目的としています。



参加者数

172 名(のべ)

受入事業者数

32 事業所 51 ボランティア



DIVE! 職業体験型ボランティア

夏休み期間を活用して、約1か月半、高校生が地域事業所の「リアルな課題」に向き合い、現場を体験しながらミッション達成に挑戦する職業体験型ボランティアです。学生が普段できない経験を経て、主体性や地域を知ることを目的としています。今年度は4つのミッションに11人の応募がありました。

ミッション例

クルマ好きなお子さんに素敵な体験を!

はたらくクルマとの

写真撮影会を実現せよ!

受入事業所：東日本自動車株式会社  
子ども向けの写真撮影イベントを企画しました。  
小道具や当日の進行を考え、イベント当日の進行を行いました。



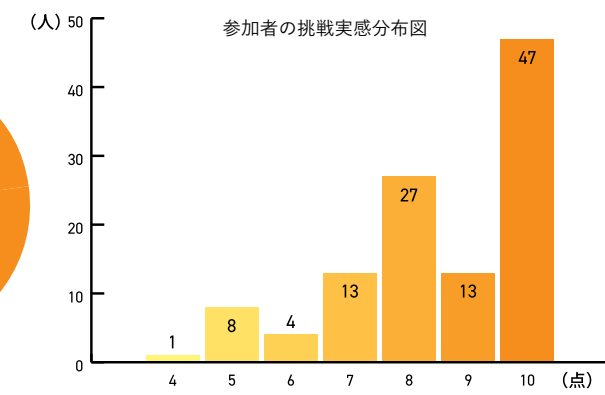
Impact

参加者の挑戦実感と地域への興味関心が高まりました!

多くの参加者が「地域で挑戦することができた」と感じています。  
自己成長に繋がる質の高い経験となったことが伺えます。

普段よりどのくらい  
挑戦できたか?

挑戦実感  
平均  
8.5pt  
10pt満点中



これまで経験したことが  
ないことに触れ合えた

今までの自分なら絶対に  
しないようなことを  
やったと実感した!

人見知りだったが、  
多くの人と関わることに  
挑戦できた

事業所の人とたくさん  
話し、質問することができた!

仲間とコミュニケーションを  
とってひとつのものを  
作り上げることが出来た

全プログラムで高い満足度を獲得。その理由の多くに、地域や事業所との新たな「つながり」があがりました。ワクワクとの出会いが地域への関心を高めています。

参加してみた満足度は  
どのくらいか?

参加者の  
満足度  
9.5pt  
10pt満点中

何も無いと思っていたが、  
石巻は想像よりも  
いきいきとしていた

普段では体験できなかったし、  
石巻の魅力を再発見できた

活動を通じて、  
震災や地域への関心が  
大きく向上した

地域を知ろうとしていなかった  
自分にとって自ら知る機会になった

最初は進路のために参加したが、  
もっと地域に関わりたく  
思うようになった

ボランティアで、  
自分も地域も可能性を  
感じる事ができた!

事業所やサポーターの  
学生との交流が楽しかった!

ムムム! たくらむ・いどむ・たのしむ

石巻地域の高校生の連続的に挑戦する意欲を高めることを目指し、一人一人の「たくらみ」を見つけ、地域で実現するサポートを行うプログラムです。一人ひとりと対話し、「やってみたい」を引き出し、丁寧な伴走を通して実践につなげることを大事にしています。

参加者数

14 名(実)

協力事業者数

11 団体



高校生の「たくらみ」の一例

震災を知る”きっかけ”を動画で届けるプロジェクト

「同世代に震災についてもっと知ってほしい」という思いから、震災伝承施設を紹介する動画を制作。様々な人に話を聞き、自作のストーリーやイラストと、現地の写真を組み合わせた動画を作り上げました。

自分の将来探究!!

「いろいろな仕事のことを知りたい」と思い、様々な会社の紹介をしているinstagramの運営に参加。実際に職場見学やインタビューを地域の人と一緒にし、投稿を作成しました。

国際節分パーティー!

「海外の人と交流してみたい」という思いをきっかけに、日本独自の節分をテーマにした交流会を企画。留学生団体などに自ら連絡し、オリジナルカルタや豆まきゲームの企画など、ユーモア溢れるイベントを実現しました。



2025年度「まちと人と」のあゆみ

Pick up!

- 4 / 1 まきボラ We Are ネクスチュ街頭募金活動
- 4 /18 視察研修 気仙沼「一般社団法人まるオフィス」
- 4 /24～ 4 /28 その他 行動指針(クレド)検討会議
- 5月～6月 ムムム! プレ企画
- 6 / 3 西高校 街クエスト作戦会議
- 7 / 5 DIVE! 高校生事前説明会
- 7 /19～ 7 /20 まきボラ インターン事前研修
- 7 /26～ 7 /27 まきボラ 2025夏「参加者事前説明会」
- 7 /26～ 8 / 1 DIVE! 「アイデアフェーズ」
- 8 / 6 ～ 8 /19 まきボラ 2025夏 参加者:のべ61人  
プロジェクト数:18ボランティア
- 8 / 2 ～ 8 /31 DIVE! 「アクションフェーズ」
- 8 /23 まきボラ 2025夏インターン振り返り研修
- 9 / 1 DIVE! 全体成果報告会
- 9 /17 ミライブラリー 志津川中学校
- 9 /27・10/10 まきボラ 2025秋「事前説明会」
- 10/ 1 ムムム! 体験会
- 10/ 4 まきボラ 石巻一箱古本市
- 10/14 西高校 街ライブラリー
- 10/18 まきボラ 大塩さくらかふえ(認知症カフェ)

石巻市地域おこし協力隊の  
事務局サポート

活動報告会 3/27

※一般社団法人ISHINOMAKI2.0とのコンソーシアム事業

石巻の地域活性に寄与する地域おこし協力隊が、安心して円滑に活動を行えるよう、石巻市と連携し隊員及び受入事業者のサポートを行っています。具体的には、募集や広報など地域や受入事業者とのマッチング、隊員研修、受入事業者研修、面談での個別サポート、全体活動報告会の運営などを行なっています。



- 10/18 まきボラ お茶の桜井園
- 10/18 まきボラ 石巻アートプロジェクト
- 10/19 まきボラ 犬楽園
- 10/25 まきボラ パンパク
- 10/26 まきボラ 2025秋「ふり返し会」
- 11/14 西高校 CandleNight今夜だけは
- 11/15 まきボラ 石巻アートプロジェクト
- 11/16 まきボラ シントウエナジー「石巻環境フェア」
- 11/15 専門次世代PJ 中間成果発表会 @サンエー
- 11/24 ムムム! 課外活動
- 11/25 石巻高校 アクションプラン相談会
- 12/ 3 ～12/ 5 西高校 街ミッション
- 12/ 2 石巻高校 アクションプラン相談会②
- 12/ 6 その他 まちと人とインターン同窓会
- 12/ 7 その他 まちと人と活動報告会
- 12月 その他 マンスリーサポーター募集開始！
- 12/11 桜坂高校 トークフォークダンス
- 12/17 ミライブラリー 桜坂高校事前授業
- 12/18 その他 スタッフ年末大会議

- 1 / 9 ミライブラリー 大河原地域 社会人研修
- 1 /14 ミライブラリー 桜坂高校
- 1 /14 桜坂高校 2年生最終発表会
- 1 /15 専門次世代PJ 成果発表会(パートナーシップ協議会)
- 1 /17 その他 インターン生企画「地域の人とご飯会」
- 1 /17 ミライブラリー 大河原地域 社会人研修②
- 1 /24 まきボラ あべクリニック産科婦人科 さざんか
- 1 /27 石巻高校 探究発表会
- 2 / 1 ムムム! 全国高校生マイブトジェクトアワード  
宮城Summit 高校生3名参加！
- 2 / 2 その他 高校教員×企業情報交換会  
(まちひとワークス共催)
- 2 /21 まきボラ インターン事前研修
- 2 /28 まきボラ 2026年春「参加者事前説明会」
- 2 /28 その他 石巻教育カンファレンス2025
- 3 / 4 ～ 3 /16 まきボラ 2026春 参加者:のべ83人  
プロジェクト数:23ボランティア
- 3 / 9 ミライブラリー 大河原商業高校
- 3 /10 その他 インターン生企画「地域の人とご飯会」
- 3 /17 ミライブラリー 迫桜高校
- 3 /17 その他 逆求人ドラフト会議  
(まちひとワークス共催)
- 3 /21 まきボラ 2026春インターン振り返り研修

Pick up!

放課後たき火

11月～2月 計4回

11月～2月まで月1回、株式会社 himori の大石豊さんをお招きし、焚き火を囲み、各々の想いや考えを語り合う場を設けました。地元住民と若者が世代や立場を超えてつながり、震災から15年の歩みを振り返りました。参加した若者からは「心温まって自然と話せる」「居場所になった」などの声が上がっています。



Pick up!

若者と石巻市長との懇談会

事前WS 1/12 懇談会 1/19

石巻で暮らす・学ぶ・働く若者が「これからの石巻の魅力」や「若者が関わり続けたいと思えるまちの姿」について語り合う場として、高校生をはじめとした若者12名と石巻市長が対話しました。参加者は事前に石巻に対する思いや理想の姿について考え、市長に提案したり、どうすれば実現できるのか共に考えたりしました。

高校生の声

市長から「高校生や若者の意見を活かしたい」という言葉があり、石巻を離れる人もいますが、思ったことを発信し、声を届けていくことが、市をより良くする秘訣だと感じました。

(Iさん)



アイデア提案書



Pick up!

「高校生が作ったお歳暮セット」  
の開発

制作 6月～12月 お披露目会 10/10

より多くの人に「若者の活躍を応援したい」という気持ちが広がってほしいという願いを込め、石巻のクラフトビール醸造所ISHINOMAKI HOP WORKSとのコラボで「高校生がつくったお歳暮セット」を製作しました。高校生たちは北上の畑を訪れ、美しい緑の中で感じたことを絵画に表現しました。その作品が散りばめられ、若者の感性で描かれた石巻の魅力を存分に味わえるお歳暮に仕上がりました。



ムムム！活動実績

- 10/13～2 /24 ムムム！たくらミーティング 全10回
- 3 / 8 ムムム！たくらみ共有会(発表会)
- 10/13～3 /31 個別の相談対応・伴走 93回

ムムム！高校生企画一覧

- 11/24 地域の人とご飯会①
- 1 /12 昔遊び大会
- 2 /14 やだな一展 / 石巻すぎるよ展
- 2 /15 冬の中瀬公園でボードゲーム企画
- 2 /20 地域の人とご飯会②
- 2 /23 国際的節分パーティーin石巻！！
- 3 /21 世界と仲良くなろうCAMBODIA編！！
- 3 /25 地域の人とご飯会③
- 3 /26 石巻すぎるよ展@スターバックスコーヒー
- 3 /28 避難中

## 関連会社紹介



合同会社  
まちひと  
ワークス



## 石巻をしごとでおもしろく

### 合同会社まちひとワークス

合同会社まちひとワークスは、「まちと人と」と同じ理念を共有して設立された関連会社です。

「石巻を“しごと”でおもしろく」をミッションに掲げ、若者の「働くこと」の伴走や、地元企業の採用支援等、若者と地元企業をつなぐ架け橋の役割を担っています。

### 法人サポート事業 石巻精機製作所採用伴走支援

地元企業の採用活動と組織づくりに伴走する事業。  
石巻精機製作所では約15校への高校訪問、求人票の改善、職場見学会などを支援し、高卒応募者が前年度0名から今年度6名に増加しました。採用にとどまらず、新規事業の立ち上げや社内制度づくりまで幅広く伴走しています。



### 若者サポート事業 逆求人ドラフト会議・5Daysインターン

就職に悩む学生と面談を重ね、就活軸や強みの言語化を伴走支援。その学生が地元企業にプレゼンし、企業が指名する「逆求人ドラフト会議」を開催。学生13名×企業15社が参加し、2名が内定、メディア4媒体にも掲載されました。石巻専修大学と連携した5DAYSインターン(5社10名)も実施しました。



### 数字で見るまちひとワークス

地域内同期研修  
月1回×12回設計(2026年4月開始)

6社 15名

5DAYSインターン

5社 10名

高校訪問

約 15校  
(石巻精機分)

内定者研修

2社 4名

高校×企業 意見交換会

1回  
(約40名参加)



#石巻をささえる

6社 取材・投稿完了

逆求人ドラフト会議

1回



### メンバー構成とその特徴

まちひとワークスは、若者や教育現場の支援を行う「まちと人と」の有志、水産業に「新3K」の革新を起こしていく「フィッシャーマン・ジャパン」の有志が集い、立ち上がりました。「教育」と「産業」それぞれが得意とする強みとネットワークを掛け合わせることで、これまで分断されがちだった地方の若者と地元企業をつなぐ、新たなアプローチを実現しています。



### #石巻をささえる とは

まちひとワークスが運営する、石巻の企業を取材して「意外と知られていない企業のすごいところ」を紹介するInstagramアカウントです。



### 会社概要

法人名 合同会社まちひとワークス  
設立日 2025年4月30日  
役員 代表 松本 裕也  
共同設立者 斉藤誠太郎

住所 〒986-0822  
宮城県石巻市中央2丁目7-38  
石巻ガスビル3F  
電話 0225-25-4085  
MAIL works@machi hito.jp

### 広報・地域連携 #石巻をささえる・商工会議所連携

企業紹介Instagram「#石巻をささえる」を立ち上げ、石巻の若者に地元企業を「知ってもらう」ことを目的とした投稿を行っています。併せて石巻商工会議所とも連携し、地域機関を巻き込みながら、若者と地元企業がつながる仕組みづくりを進めています。



### 地域の人事部事業 内定者・新入社員研修・高校×企業意見交換会

1社では実施が難しい研修を複数社合同で行う仕組みづくり。内定者研修(2社4名)に加え、2026年4月からは合同新入社員研修「石巻ルーキー研修」を月1回開催(6社・15名)。高校×企業意見交換会(約40名参加)も実施し、企業の垣根を越えて若手の育成・定着を支えています。



| 項目   |        | 金額  |              |
|------|--------|-----|--------------|
| 経常収益 | 寄付     |     | ¥ 1,291,094  |
|      | 助成金    |     | ¥ 8,328,684  |
|      | 事業収益   |     | ¥ 6,875,768  |
|      | その他    |     | ¥ 803,961    |
|      | 経常収益合計 |     | ¥ 17,299,507 |
| 経常費用 | 事業費    | 人件費 | ¥ 6,052,690  |
|      |        | 委託費 | ¥ 3,679,115  |
|      |        | 謝金  | ¥ 2,712,484  |
|      |        | その他 | ¥ 1,807,653  |
|      | 管理費    |     | ¥ 1,780,391  |
|      | 経常費用合計 |     | ¥ 16,032,333 |
| 収支差額 |        |     | ¥ 1,267,174  |

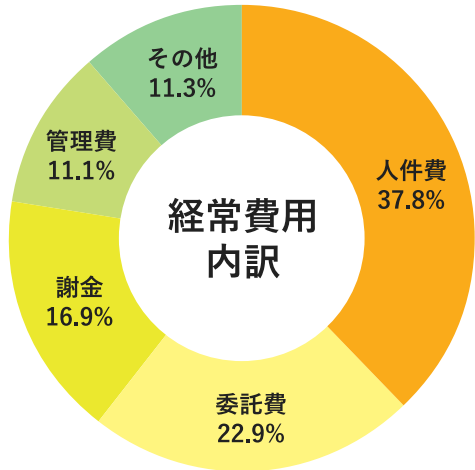
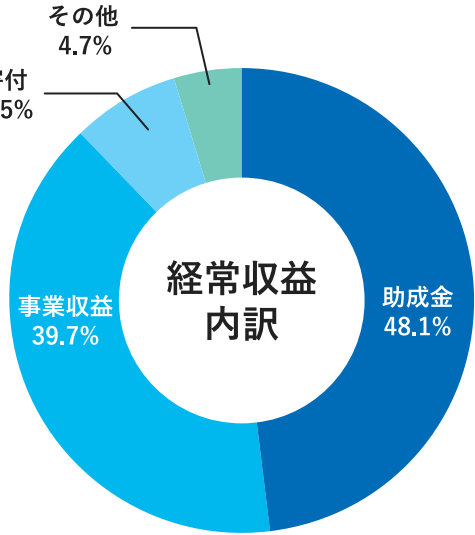
寄付の方法

マンスリーサポーター

まちと人との活動を毎月継続的に応援できるサポーターをREADYFORの継続寄付プラットフォームを通して募集しています。地域の未来を共に作る仲間として、2026年度は50名のサポーター登録を目指しています。詳細はリンクからご確認ください。



日頃使う電気で地域を応援できる電力サービスプラットフォーム「SOCIAL ENERGY」に参画し、「まち人電力」を実施しています。個人契約・法人契約問わず「まち人電力」に電気を切り替えていただくことで、毎月の電気代の一部を活動にご寄付いただけます。



企業サポーター



個人サポーター

|       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 阿部 ゆう | 岩田 昇太 | 坂本 紗綾 | 鈴木 憲司 | 平塚真一郎 | 三浦 丈典 | 野内スザナ |
| 五十嵐龍翔 | 江口 創紀 | 佐々木 大 | 鈴木洋太郎 | 榎谷 和子 | 三上 和仁 | 矢嶋 伸樹 |
| 伊藤 歌音 | 江口 怜  | 佐藤 龍汰 | 高梨 育臣 | 松本 祐佳 | 水畑 順作 | 渡辺 一馬 |
| 伊藤 謙  | 小川 凜  | 佐野 亜希 | 田口 雄太 | 丸川 正吾 | 門間 昌弘 | 渡邊 佑  |
| 伊藤 真結 | 片平 梨江 | 柴田 滋紀 | 芳賀 潔  | 眞山 翔子 | 門間 義典 |       |

8月26日時点 50音順・敬称略

助成・協賛





## 一般財団法人 まちと人と

|       |                                                                                         |                     |         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------|
| 法人名   | 一般財団法人まちと人と                                                                             |                     |         |
| 設立    | 2022年3月18日                                                                              |                     |         |
| 所在地   | 〒986-0822<br>宮城県石巻市中央二丁目7-38<br>石巻ガスビル3階                                                |                     |         |
| 電話番号  | 0225-25-4085                                                                            |                     |         |
| 問い合わせ | info@machihito.jp                                                                       |                     |         |
| 代表理事  | 齊藤誠太郎 社会教育士/産業カウンセラー<br>石巻市学校支援地域コーディネーター<br>石巻高等学校地域コーディネーター<br>一般社団法人ISHINOMAKI2.0 理事 |                     |         |
| 評議員   | 齋藤 祐司                                                                                   | 株式会社齋武商店            | 代表取締役社長 |
|       | 平塚真一郎                                                                                   | 石巻市立湊中学校            | 校長      |
|       | 松本 祐佳                                                                                   | 株式会社石巻精機製作所         | 代表取締役   |
|       | 山内 智浩                                                                                   | 東日本自動車株式会社          | 代表取締役社長 |
|       | 横江 信一                                                                                   | 石巻専修大学人間学部          | 特任教授    |
| 理事    | 松本 裕也                                                                                   | 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン | 事務局長代理  |
|       |                                                                                         | 合同会社まちひとワークス        | 代表      |
|       | 三上 和仁                                                                                   | 合同会社デザインナギ          | 代表      |
|       | 渡辺 一馬                                                                                   | 一般社団法人ワカツク          | 代表理事    |
| 監事    | 山田 晴康                                                                                   | HaS会計事務所            | 代表      |

### 連携・協働組織

石巻市立桜坂高等学校 / 宮城県石巻西高等学校 / 宮城県石巻高等学校  
石巻専修大学 / 宮城県東部地方振興事務所地方振興部  
石巻市復興企画部SDGs移住定住推進課 / 一般社団法人ISHINOMAKI2.0  
一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン ほか

## まちと人との今をお届けします！

### メールマガジン

活動の様子やスタッフの思い、  
現場の裏話などを配信中です



### Instagram

日々の活動風景やイベント  
情報などを写真で伝えます



フォローはこちら